

# 住民の利益第一をつらぬく立場で

「せっかく政権が変わったのに、民主党政権にはがっかり。でも自民党にはもどりたいくない...」「どうしたら政治と社会の閉塞感をとりのぞけるのか」 いま、新しい政治を求め、多くのみなさんが真剣な探求を始めています。日本共産党の久代安敏は、そうしたみなさんの声をよく聞きながら、よりよい地方政治のために行動します。



**住民の声と願いを議会に届けます**

議員の仕事の一番は、住民の声と願いを議会に届けることです。

議会の定例会は、年4回開かれますが、そのときどきの問題を一般質問で欠かさず取り上げてきました。

いま、町政についての住民アンケートを取っています。みなさんの声を是非お寄せください。



産業廃棄物焼却施設の誘致計画に対して、日南町議会が議決した「間伐材搬出促進事業の継続を求める意見書」を

**建設的な提案で行政と議会を動かす 住民要求を一步でも実現します**

議員の仕事の一番目は、地方自治体はもちろんのこと、県や国に対しても現実政治を一步でも一歩でも動かすことです。

なんでも賛成、反対ではなく、党派を超えて住民の利益第一で行動します。

民主党政権が推進する TPP 参加で、県内の主要農産物生産額は、1割台に縮小。日南町では、米などの主要農産物で約20億円の減少と試算されています。「安全な食料は日本の大地から」の声を広げましょう。

**住民目線でのチェック機能を発揮し 無駄をなくし公正な政治を求めます**

三番目に、地方公務員が、全体の奉仕者としての仕事を果たすために、事業の中身に無駄や問題はないのか、税金の使われ方をしっかりチェックすることです。

とりわけ、不公正な「同和対策事業 教育」の廃止は、子どもの人権のためにも急がれます。